

生きるってどういうこと？

生命を 哲学する

いのち

命ってなに？

これから人はどうなっていくのか？

『IIAS「哲学と先端科学」の対話シリーズI』

第1回テーマ 生命科学/技術を「哲学」する

【開催日時】2019(令和元)年 **9月20日** (金) 18:00~

【定員】先着70名

【開催場所】国際高等研究所 コミュニティホール
木津川市木津川台9丁目3番地

【参加費】2,000円

(30歳以下の大学院生・学生、無料)

登壇者紹介 <対談>



佐伯 啓思 氏

京都大学名誉教授・こころの未来研究センター
特任教授
共生文明学、現代文明論現代社会論、社会思想史が
専門。
現代社会を文明論的観点から捉え、政治、経済の分
野を中心に広く評論活動をおこなっている。



鈴木 晶子 氏

京都大学大学院教育学研究科教授、
理化学研究所革新知能統合研究センター
人工知能倫理・社会チームリーダー
教育哲学、科学哲学、歴史人類学、死生学が専門。
現在、新たなAI技術文明の時代に生きる人間の
ための産官学連携による総合倫理プラットフォーム
構築のプロジェクトに取り組んでいる。

このシンポジウムはみなさまの意見で討論がはじまります!!

お申し込み方法 : 国際高等研究所のホームページよりお申し込みください。



① 高等研のホームページより
参加申込
<http://www.iias.or.jp/>



② 受付完了のメールを受信



③ ウェブアンケートに
回答・送信



④ 当日参加

国際高等研究所は設立から35年、「人類の未来と幸福のために、何を研究すべきかを研究する」ことを基本理念に、人類が直面する諸課題の予見と解決策の追究をすすめています。

「健康・長寿社会への対応」は現代社会の課題であり、その解決のために「生命科学／技術」の在り方が注目されています。「生命」を「科学」することの可能性と限界、「生命科学」自体の可能性と限界を明らかにするとともに、先端科学技術を日常の身近な問題に置き直し、「人間」を置き去りにした「技術文明」への批判的視座を得るなどによって、現在、大きな期待が寄せられている「ゲノム編集」などの「生命科学／技術」の本質的理解に迫ります。

Q: 生命科学／技術の在り方は、東西の自然観・生命観の違いによって、特に「人為と自然」の理解によって、異なるのではないかと。

Q: 生命科学／技術の目的は、本来、「より良い生」を追求するものであるならば、人文科学的・社会的視野が不可欠ではないかと。

Q: 生命科学／技術の本質に迫るには、生物学的・物理学的・心理学的、かつ、主客を超えた多角的アプローチが不可欠ではないかと。

登壇者紹介

藤原 広臨 氏 コメンテーター

京都大学大学院医学研究科講師

理化学研究所革新知能統合研究センター客員研究員

精神科医であり、一方では剣道愛好家でもある。こころや認知機能を生命科学的にさまざまな技術で調べると共に、生活の中で日本古来の伝統・思想を大事にして、バイオリジカルな考察と東洋的思想を背景とするわざの修練をブリッジングしていきたいと考えています。

金澤 洋隆 氏 コメンテーター

国際高等研究所特任研究員、京都府立医科大学研究員

京都府立医科大学医学部医学科卒

専攻は生物物理学、政治哲学。人間への「生」に対して、数理的および哲学的アプローチという異なる二つの方向から考え、その交差点としての医療現場を見据えながら、「生」に大事なものは何か、全員で共有できる言葉を探りたいと思っています。

川竹 絢子 氏 コメンテーター

京都大学医学部医学科6年 / WAKAZO 執行代表

専攻は心理学。2019年よりWAKAZO執行代表。全国4都市で、「2025年万博若者会議」を開催する。生命科学の進歩による、生物としての「ヒト」に対するより深く包括的な理解の獲得や生命現象の新たな解明を、いかに「人類の未来と幸福」につなげていくか、議論の中でふれることができたいと思っています。

駒井 章治 氏 ファシリテーター

国際高等研究所客員研究員

理化学研究所未来戦略室イノベーションデザイナー

奈良先端科学技術大学院大学先端科学研究科准教授

いざな 討論への誘い

私達ヒトにとって最も身近でかつ最も難解な対象である「生命」は医療や生命科学のみならず、工学や情報科学等様々な分野の研究対象となってきました。改めてこの生命と向き合うことで私達人類が向かうべき未来へ志向する足がかりとなればと考えています。皆様方と議論をする中から一筋の光が見いだせるような会にできれば幸いです。

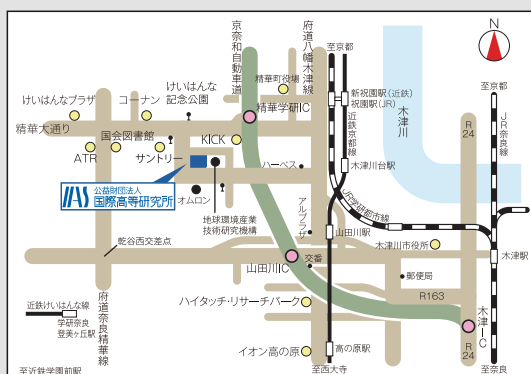


プログラム

18:00	開会
18:00～18:10	参加者事前アンケート結果の紹介
18:10～19:00	コメンテーターによる参加者意見等へのコメント対談（佐伯啓思先生×鈴木晶子先生）
19:00～19:15	休憩（軽食・交流懇談、質問・意見提出）
19:15～20:00	ワールド・カフェ*形式によるグループ討議 グループ討議結果の紹介
20:00～20:40	対談（佐伯啓思先生×鈴木晶子先生） まとめ（討議・対談を踏まえての問題提起）
20:40	閉会

*ワールド・カフェ形式とは
参加者が少人数に分かれたテーブルで自由に対話を行い、相互理解を深め、話し合いを発展させていく手法。

アクセス



主催：公益財団法人国際高等研究所

企画：満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲートの会」／けいはんな「エジソンの会」／集合知プラットフォームの構築プロジェクト

後援：国立研究開発法人理化学研究所（予定）

問い合わせ先：公益財団法人国際高等研究所 Tel:0774-73-4000

e-mail: iias_cjpsymposium@iias.or.jp